

# 100年を超える歴史の中で 患者さんに寄り添い続ける

第一三共は、100年の長い期間に亘り受け継がれてきたサイエンス&テクノロジー(S&T)の強みを活かして、先進的医薬品の創出に挑戦し続けています。

これからもS&Tを源泉に、革新的医薬品の創出や、他社と連携したトータルケアエコシステムとトータルケアプラットフォームの構築等に取り組み、Healthcare as a Service (HaaS)\*を実現し、2030年ビジョン実現を通じて「世界中の人々の健康で豊かな生活に貢献」します。

※ 多様なデータや先進的技術を活用し、一人ひとりに寄り添った最適な健康・医療サービスを提供すること



## 中期経営計画の歩み

### 創薬企業としての歴史(歴代主要製品)

- 1899年 消化酵素剤 タカチアスターゼ®を発売
- 1902年 副腎髄質ホルモン剤アドリナリン
- 1910年 鈴木梅太郎博士(三共学術顧問)がビタミン学説の基礎を確立
- 1915年 梅毒治療薬サルバルサンを国産化
- 1922年 血液収縮止血・喘息治療薬ボスミン®製造開始
- 1951年 抗生物質製剤ククロマイセチン®の国産化に成功
- 1965年 抗プラスミン剤トランサミン®
- 1985年 広範囲経口抗菌製剤タリビット®
- 1986年 鎮痛・抗炎症剤ロキソニン®
- 1989年 高コレステロール血症治療剤メバロチン®
- 1993年 広範囲経口抗菌製剤クラビット®
- 2002年 高血圧症治療剤オルメサルタン(日本・欧州製品名:オルメテック®, 米国製品名:ベニカー®)

時代ごとの「未充足の医療ニーズ」の変遷

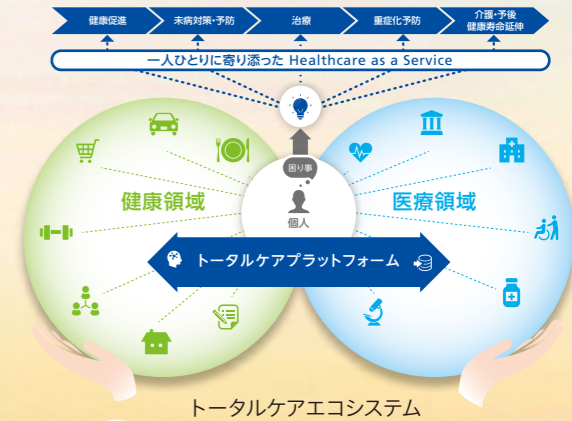


## 2030年ビジョン

サステナブルな  
社会の発展に貢献する  
先進的グローバル  
ヘルスケアカンパニー



※2 出典:内閣府「Society 5.0「科学技術イノベーションが拓く新たな社会」説明資料より



サイエンス&テクノロジー  
(S&T)を源泉にした  
革新的医薬品の創出

トータルケアエコシステムと  
トータルケアプラットフォーム構築による  
HaaSの実現